

2018年8月14日

各位

会社名 モーニングスター株式会社  
 (コード番号 4765)  
 (上場取引所 東京証券取引所 JASDAQ)  
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也  
 開示責任者 取締役管理部長 小川 和久

## 「Gomez 賃貸不動産情報アプリランキング」の発表について

～LIFULL HOME'S が総合第1位を獲得！～

中立的な第三者としての立場からEコマースや各種ウェブサイトの客観的な評価・比較を行うモーニングスター株式会社(以下、当社)は、「Gomez 賃貸不動産情報アプリランキング」をGomezのウェブサイト(<http://www.gomez.co.jp/>)で発表しました。

「Gomez 賃貸不動産情報アプリランキング」は、賃貸不動産情報を提供するスマートフォンアプリの使い勝手やクオリティを、ユーザーの視点から評価することを目的としています。

総務省の通信利用動向調査によりますと、インターネットの利用端末は、パソコンが58.6%と最も高く、次いでスマートフォンが57.9%(同3.6ポイント増)、タブレット型端末が23.6%(同5.3ポイント増)となり、なおスマートフォンやタブレット端末の利用者が年々増加傾向にあります。それに伴いスマートフォンアプリも活用されています。

アプリ特有の機能や使い勝手、多くの情報を整理して表現する重要性はますます高まることから、本年度はアプリを対象に調査を行いました。

当ランキングでは、「アプリの使いやすさ」「情報量とコンテンツ」「安定性と信頼感」「便利な機能・サービス」の4つの視点(カテゴリ)から構成される108の調査項目により当社アナリストが評価を行い、総合的に優れた賃貸不動産情報アプリのランキングを決定します。

「Gomez 賃貸不動産情報アプリランキング」の結果は、以下のとおりです。

### ■総合得点

順位	得点	アプリ名(運営会社)
1位	7.85	LIFULL HOME'S (LIFULL)
2位	7.66	SUUMO (リクルート住まいカンパニー)
3位	7.05	アットホーム (アットホーム)
4位	6.75	いい部屋ネット (大東建託)
5位	6.66	Yahoo!不動産 (ヤフー)
6位	6.01	マイナビ賃貸 (マイナビ)
7位	5.80	CHINTAI (CHINTAI)
8位	5.57	アパマンショップ (アパマンショップネットワーク)

## 【上位アプリの特徴】

---

総合第1位は、LIFULL HOME'S（運営会社：LIFULL）となりました。カテゴリ別では、「情報量とコンテンツ」と「安定性と信頼感」の2カテゴリで1位を獲得しています。

マイページを起点とした構成が特徴的です。保存済み条件やお気に入り物件リストのほか、物件契約完了までの「やることリスト」で進捗状況を一目でわかるなど、再訪しやすい機能を多く用意しています。

ログイン後は、保存済み条件や閲覧履歴などがウェブサイトとアプリ間で連携されるので、利用者の利便性向上につながっています。

また、AR（拡張現実）技術を活用し、部屋のサイズを測ることができる機能のほか、建物にカメラをかざして対象物件の空室情報の有無を検索できる機能など、新たな技術を取り入れた質の高いサービスを提供している優れたアプリです。

総合第2位は、SUUMO（運営会社：リクルート住まいカンパニー）となりました。カテゴリ別では、「アプリの使いやすさ」と「便利な機能・サービス」の2カテゴリで1位を獲得しています。

SUUMOでは、なぞって探す検索やおさんぽ検索など、複数の検索機能を用意しています。

例えば「なぞって探す」検索は、利用者が地図上の任意の場所を指でなぞって線を囲み、その範囲内にある物件を地図上に表示することができるもので、感覚的に楽しみながら利用できるユニークな検索機能です。

また、遠隔地からの物件探しが容易になるとともに、時間の大幅な短縮ができるため利便性の向上が期待されている「IT重説」※1の対応物件検索が可能になっています。現状では、他の不動産情報アプリのほとんどが未対応の中、積極的に取り入れている姿勢は評価できます。

総合第3位は、アットホーム（運営会社：アットホーム）となりました。

アットホームの検索機能は、利用者が探しやすい工夫が見られます。例えばフリーワード検索では、検索キーワードにエリアや学校名のほかスポット名称にも対応しています。そのほか最初の1文字を入力すると候補ワードが表示されるサジェスト機能を実装し、利用者が目的の物件を見つけやすいよう配慮しています。

またお気に入り登録物件は、お気に入り度合いを自由に設定できるほか、利用者が自由に書き込めるメモを表示できるなど利用者の使いやすさに配慮した良いアプリです。

※1：2017年10月宅地建物取引業法が改正され、これまで宅地建物取引士が必ず対面で行うことが義務化されていた賃貸取引に関して、一定の要件を満たすことにより、重要事項の説明がインターネット等を利用した対面以外の方法で賃貸借契約における重要事項説明を行うこと。

## 【全体的な傾向】

---

不動産情報アプリ全体的な傾向として、他社との差別化を図り独自のサービスを盛り込んでいるアプリが多く見られます。上位のアプリでは、最新技術AR（拡張現実）を利用し、新たなサービスを展開する取り組みが積極的になされています。

会員サービスを提供しているアプリでは、登録済み検索条件やお気に入り物件情報をウェブサイトと連携することで、様々な閲覧デバイスを利用しているユーザーも再訪しやすい配慮がされており、利便性の向上につながっています。

今後、ますます人工知能などによる機能の充実が見込まれる中、多様化したユーザーニーズや潜在ニーズをとらえた検索軸の用意をし、提案型のサービスを展開するとともに、常にユーザーの視点に立ったアプリづくりが望まれます。

## 【調査概要】

調査期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2018年7月17日～7月31日</li> <li>◆ ランキング結果は7月31日までのアプリに基づいています。</li> </ul>
調査対象	<p>Gomez 賃貸不動産情報アプリランキングでは、iOSを対象とし、賃貸不動産物件情報の閲覧および、問い合わせが可能な日本国内の不動産情報アプリをノミネートしています。</p> <p>具体的には、下記のノミネート基準を満たすアプリを調査対象としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 個人向け賃貸住宅の情報を提供していること</li> <li>◆ 広い地域にわたる不動産物件情報を提供していること</li> <li>◆ 不動産会社から物件情報の提供を受けていること（但し不動産情報サイトから受けている場合も、一定の基準を満たす場合は含む）</li> <li>◆ その他、当社調査において一定以上の水準を満たすこと</li> </ul>

## 【評価方法】

本調査では、アプリの利便性をさまざまな角度から分析・評価するために、以下の4つのカテゴリからなる108項目のランキング・スコアカードを用います。各カテゴリの主な評価内容は以下のとおりです。

カテゴリ名称	評価内容
アプリの使いやすさ	アプリ全体の使いやすさを評価するカテゴリです。ページ構成、ナビゲーション構造など基本構成を中核とし、物件検索機能などを総合的に評価しています。
情報量とコンテンツ	アプリに掲載されている各種コンテンツの情報量やページ構成を評価するカテゴリです。物件検索ページや物件ページの構成、特集コンテンツなどが調査の対象となります。
安定性と信頼感	ユーザーが安心してアプリを利用するための取り組みを評価するカテゴリです。表示速度の状況、問い合わせのわかりやすさ、各種方針開示などが調査の対象となります。
便利な機能・サービス	その他、さまざまな付帯サービスの充実度を評価するカテゴリです。検索条件項目の多様性や会員向けサービス、レコメンド対応など、さまざまな施策が調査の対象となります。

## 【本件に関するお問い合わせ】

モーニングスター株式会社 Gomez・コンサルティング事業部 森澤  
 電話：03-6229-0680 FAX：03-3589-7963 Eメール：gomez-info@morningstar.co.jp